

2018年6月22日

日本基督教団大阪教区
諸教会・伝道所 御中

大阪教区
2018年6月18日(7:58)発生地震に関する
お見舞いと経過報告

日本基督教団大阪教区
総会議長 小笠原 純

主の御名を賛美いたします。

6月18日(月)午前7時58分、大阪北部地域に大きな地震がありました。諸教会・伝道所の皆さまにおかれましては、恐い思いもされ、たいへん難儀な生活を強いられた方々もおられることと存じます。こころよりお見舞いを申し上げます。

諸教会・伝道所のことを覚えてご心配をされ、お祈りくださっていることと存じます。大阪教区では地震発生当初から、諸教会・伝道所に安否確認を、電話やメール等をとおして行ない、被害の状況を収集いたしました。

現時点での大きな被害は、茨木春日丘教会の礼拝堂のガラスが破損したということです。6月21日(木)に教区議長がお見舞いにお伺いいたしました。いろいろな教会・伝道所で食器が割れた、本が散乱した、花瓶などの破損により水浸し等の被害が多数ありました。

6月18日(月)に教区常置委員会が行なわれる予定でしたが、地震の状況・交通網の状況から、6月22日(金)に常置委員会を延期いたしました。6月22日(金)の常置委員会において集められた情報を加えて、皆様に現時点での地震の被害をご報告いたします。

6月22日(金)の常置委員会には、教団の加藤誠幹事もお見舞いにきてくださいました。台湾基督長老教会からのお見舞い金を届けてくださいました。また、関西三教区をはじめ、多くの教区からお見舞い、またご支援の申し出が届きました。こころから感謝いたします。

まだ避難をしておられる地域、ライフラインが回復していない地域もあります。余震や梅雨の雨など心配なこともございます。皆様、お気をつけくださいますように。またなにかありましたら、教区に情報をお寄せくださいますようにとお願いいたします。

被災地域におられるすべての人々に、神さまのお守りがありますように。神さまの慰めと平安とがありますようにと祈りいたします。

大阪教区

2018年6月18日(7:58)発生の地震に関する

— お知らせとお願ひ —

2018年6月22日

大阪教区総会議長 小笠原 純

2018年6月18日(月)朝7時58分、震度6弱(M6.1)の地震が大阪北部を震源とし発生し、5名の方の大切ないのちが天に召されました。そして、被災され今も困難な状況の方々がおられます。まだ不安な日々が続くと思いますが、共に祈りをあわせつつ歩んで参りたいと思います。悲しみと痛みにある方々に主の慰めをお祈り致します。

2018年6月18日朝に発生した地震とその後の余震に関して、皆さまのところでは被害状況はいかがでしょうか。別紙資料にて、確認した安否状況をお知らせいたします。今回、教区事務所からの問合せ主に北部地域とさせていただきます。日頃より、大阪教区でも災害に対し学びを深めてきておりましたが、学びだけでなく、今更ながら、実際の当事者になる不安を皆さまも抱かれておられるのではないかと思います。今回、それぞれの教会により被害状況は様々であったかと存じます。しかしながら、全ての教会・伝道所において、教会員、関係者の皆さまは不安な日々を過ごされたことでしょう。今後、被害の拡大のないよう切に祈ります。

この度、常置委員会において、地震(災害)に関して、各教会・伝道所に以下の問い合わせをすることを決めました。

- 1) 今回の地震での教会・伝道所、関係施設の被害について
- 2) 現在の地震(災害)に対する備えについて(連絡手段や備蓄物について等)

被害の最中におられる教会・伝道所には、特にお手数をおかけいたしまして恐縮ですが、別紙にて、状況をお知らせいただきたいのです。地震は、いつの時も安全とは言い難いものですが、そのための備えと心構えを共有し、皆でいのちを大切にする歩みをなせればと思っております。今どうぞご協力の程よろしくお願ひいたします。また、暫くは予断の許さない、心の安まらない日々かと思われませんが、心の備えも整えて参りたいと存じます。被害に対する対応のみならず、備蓄の不足や耐震診断など、これからの教会としての防災の有り様、地域に根ざした教会の有り様について、教区としても備えて参りたいと考えております。

皆さまのいのちの業が、主にあつて守り導かれますようお祈りいたします。

地震被害には、日本基督教団会堂共済組合の保険が適用された例もあったと聞いております。詳細は日本基督教団会堂共済組合HPなどでもご確認ください。(日本基督教団会堂共済組合からの「加入のお勧め」も併せて同封致しました【未加入教会のみ】)

* 提出の時期は、一応の区切りとして2018年7月16日(月)までとさせていただきます。

日本基督教団 大阪教区事務所

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-26-47 大阪クリスチャンセンター内

電話 06-6761-8562 FAX 06-6761-8536

uccj-osk@pure02.pure.ne.jp

uccj-osk@bflfetsf.bforth.com

日本基督教団 御中
各教区議長の皆様

主の御名を賛美いたします。

2018年6月18日発生の大阪北部地震に際しまして、お見舞い、お祈りくださり、ありがとうございます。こころから感謝いたします。

地震から一週間をへて、落ち着きを取り戻しつつあります。6月24日（日）には予定されていた教会で牧師就任式も行なわれました。

6月22（金）に教区常置委員会が開かれました。兵庫教区の古澤啓太議長、教団の加藤誠幹事が陪席をされました。教団から救援対策本部の立ち上げの必要性を問われましたが、現時点では必要ないということ、常置委員会で確認をいたしました。教区の諸教会・伝道所に「お見舞いと経過報告」を送りました。初動活動で安否確認等を行ないましたが、各教会・伝道所に「お知らせとお願い」を送り、被害状況の正確な情報収集を行なうことにしています。

台湾基督長老教会、兵庫教区 被災者生活支援長田センター、東中国教区、京都教区からお見舞い金をいただきました。また多くの教区からお見舞いのご連絡、ご支援の申し出をいただきました。こころから感謝いたします。

地域では、この地震で亡くなられた方々もおられ、大きな被害を受けられた方々もおられます。被災されたすべての人々に、神さまの慰めといやしをお祈りいたします。

今後とも、被災地を覚えて、お祈り、お支えくださいますようお願いいたします。

2018年6月25日

大阪教区総会議長 小笠原 純



届出用紙 (2018年7月16日まで)

*既に電話・メール等でご連絡をいただいている場合も、本紙にて届出をお願い致します。

日本基督教団大阪教区

2018年6月18日(7:58)発生の地震、その後の被害に関する届

2018年 月 日 (現在)

届出報告者:

被害状況について (被害のなかった場合でもお知らせいただければ幸いです。)

教会・伝道所名

<p><u>被害内容 (とその後の対応)</u></p> <p>キワード例) ガラス破損、墓地破損、怪我、電気・水道・ガス、インフラ、会堂一部損壊 (比等)、カガソ要修理、危険度判定、罹災証明・・・等々</p> <p>*教会・伝道所、教会関係施設、信徒まで含みます。</p> <p>軽微と思われるようなことでもお知らせ下さい。</p> <p>(もしも写真など、ありましたら添付してください)</p>	
---	--

具体的な被害の修理費用等、すでにある程度おわかりでしたら、あわせてお知らせいただければと存じます。

<p><u>災害 (地震他) に対する備え</u></p> <ul style="list-style-type: none">・委員会組織・教会備蓄物・避難場所の確認・連絡網の構築 等々 <p>*詳しくお願いします。</p>	
<p>その他 依頼、提案 等</p> <p>例) ボランティア派遣依頼、</p> <p>システム構築 (171)・備蓄等の提案など</p> <p>*何かありましたらお知らせください。</p>	

一応の〆切:2018年7月16日(月) 大阪教区事務所まで

本紙にご記入いただき、Fax または郵送・メールにて大阪教区事務所までお送りください。

FAX:06-6761-8536

MAIL: uccj-osk@bfletsf.bforth.com



茨木春日丘教会礼拝堂



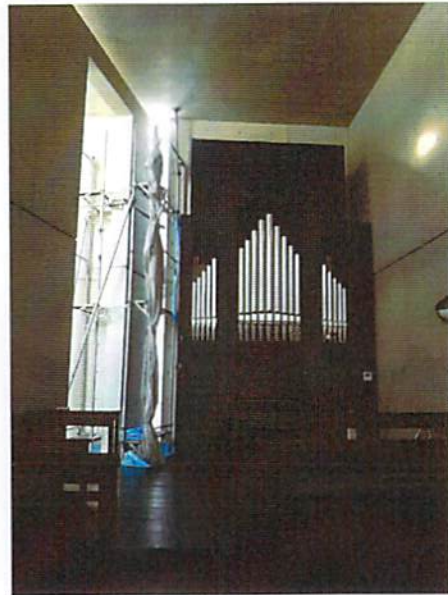
茨木春日丘教会礼拝堂



茨木春日丘教会礼拝堂



高槻教会集会室



茨木春日丘教会礼拝堂



茨木春日丘教会礼拝堂



高槻教会集会室

大阪北部地震

2018年6月18日発生

6月19日、高槻教会訪問

6月21日、茨木春日丘教会訪問